

令和4年度 防災研修

北淡震災記念公園（野島断層） 兵庫県広域防災センター（三木） 弥生が丘自治会防災部/弥生が丘自治会自主防災会

コロナ禍の影響で3年間実施を見合わせていた防災研修を3月4日(土)36名の参加者で実施しました。

野島断層では、阪神・淡路大震災で地表に現れた想像を絶する大きな断層や、被災後の戸建て住宅の台所の惨状を目のあたりにし、地震の恐ろしさを改めて認識しました。

必ずやってくる地震に備え、事前の対策がいかに大事かを学びました。



参加者:36名



地震直後の台所



地表に現れた大きな断層

兵庫県広域防災センターでは、ウエルカムボードの出迎えを受け、まず導入研修で元西宮市の消防士の防災講和(当時の被災地の救助活動の実態、地震への備え(まずは自分の身は自分で守る=食料の備蓄、家具の固定等)、地震発生時、近隣同士の助け合いの大切さ等)をお聞きしました。

その後、参加者全員が、起震車で震度7の地震の揺れの体験、煙道体験(真っ暗で目の前が全く見えない部屋を、入り口から出口まで通り抜ける体験)で、実際地震に遭遇した時のシミュレーションをし、地震の怖さを改めて知ることができました。



(参加者の感想)

1	個人でこのような施設を見学するのは難しいですが、自治会で計画していただきありがたかったです
2	今日の研修で、災害に備え自分で出来ることはして行こうと思いました。またいざという時は、近所の方同士の助け合いが不可欠という事もよくわかりました
3	西宮で阪神淡路大震災に被災しました。想像を絶するまちの風景でした。それから 30 年近くが経ち、当時の記憶もすっかり薄れてしまっていたのですが、今回の研修で大震災の事実を決して風化させてはならないと改めて思いました
4	阪神淡路大震災の時は未だ幼稚園児でほとんど記憶にありません。今日の研修に参加して、震災の怖さを改めて知ることができました。子どもたちにも地震の怖さをきっちり教え、備えてゆきたいと思います
5	起震車の揺れはすごくて怖かった。飛ばされそうになった(小学生)
6	今日勉強したことは、学校で先生や友達に話をしようと思う(小学生)
7	煙道体験では、周りが全く見えず中々出てくることできませんでした。災害の怖さがわかりました
8	子どもと一緒に参加しましたが、子どもなりに震災に対する備え、心構えを学習できたかなと思いました
9	役員や、担当の方には大変お世話になりありがとうございました。大事な研修です。毎年実施をお願いします
10	参加費1,500円でこのような研修に参加できて良かったです。お土産クーポン、サプライズでした

あの痛ましい「阪神淡路大震災」から早 30 年近くが経過しました。ともすれば当時のことが忘れ去られようとしています。我々の住む西日本では今後30年以内にかんがりの確率で「南海・東南海地震」が起こると言われています。地震をはじめ風水害に備え、私たち一人一人が、まずは「自分の身は自分で守る」(自助)の意識を持ち行動すること、又災害発生時は「近隣の住民同士の助け合い」(近助・共助)が被害を最小限に(減災)にとどめることが出来ると確信します。

ちなみに阪神淡路大震災で被災された35,000人の内、近隣住民によって救出された方は、27,000人(77%)にのぼります。警察、消防、自衛隊等公的機関に救出された方はわずか8,000人(23%)です。(内閣府の公式データより) この事からも、災害発生時初期の近隣同士の助け合いの大切さがわかります。普段より近隣同士のお付き合いを心がけて下さい。

今回、若い世代や子どもたちも多く参加してくれました。大震災を経験した私たちは、災害に備え何をすべきかを若い世代に確実に伝達していくことの大切さを、今回の2施設の見学・体験を通して、改めて認識してきました。

弥生が丘自治会防災部/弥生が丘自治会自主防災会